

坂の上の雲ミュージアム

明治 150 年・秋山真之生誕 150 年記念

「秋山真之と明治の艦船」

開催期間：特別展示①平成 30 年 7 月 24 日（火）～9 月 30 日（日）

特別展示②平成 30 年 10 月 30 日（火）～12 月 25 日（火）



【企画展の内容・目的】

- 明治 150 年・秋山真之生誕 150 年を記念し、秋山真之と彼に関連する明治の艦船をテーマにした特別展示を前期・後期の 2 回にわけて実施した。
- 特別展示①「明治の艦船一船からみる近代日本」では、明治時代の艦船の様相や社会の変化を紹介し、海洋国家としての日本を再認識してもらう機会とした。
- 特別展示②「秋山真之一受け継がれる海の歴史」では、村上海賊と秋山真之の接点を探り、歴史の観点から人びと海をつながりについて考え・学ぶ機会とした。
- 秋山真之生誕 150 年記念シンポジウムでは、専門家による講演・パネルディスカッションを開催し、歴史の流れのなかで人びとと海の関わりを考える機会とした。

1. 企画展示の内容

- 特別展示①「明治の艦船—船からみる近代日本」
- 開催期間：平成30年7月24日（火）～平成30年9月30日（日）
- 開催場所：坂の上の雲ミュージアム 4階展示室2
- 入場者数：21,929人



坂の上の雲ミュージアム 外観



特別展示会場 入口



展示会場の様子



船や海が描かれた錦絵

日本の近代化のなかで、船はどのような役割を果たしたのか。本展示では、人やものを運ぶ貨客船、日露戦争の軍艦や病院船など、時代のさまざまな場面で活躍した船の歴史から、明治の日本をみつめた。

展示にあたっては、文字資料や記録に偏らないよう意識し、精密な艦船模型や写真パネル、絵はがきや錦絵などグラフィック資料を中心に展示して、明治時代の艦船の様子を視覚的に理解できるように配慮した。



貨客船「信濃丸」関係資料



貨客船「信濃丸」で使用された椅子



病院船「博愛丸」関係資料



ブラジル移民船「笠戸丸」模型

明治時代の艦船の具体的な事例として、日本郵船の貨客船「信濃丸」、日本赤十字社の病院船「博愛丸」、ロシアの病院船でのちに日本に接收されブラジル移民船として利用された「笠戸丸」を紹介した。これらの船は、いずれも日露戦争に関係し、大正～昭和初期には漁業工船に転用されたという共通点をもつ。関連資料を展示しながら、社会の変化により、多様な目的に使用された船の歴史を解説し、人びとの海の利用の在り方の変化、日本の近代化における船の役割について考える機会を提供した。

【来館者の声】

- 明治時代の人びとの頑張りがわかった。島国日本における海運の重要性を改めて感じた。
(80代・男性)
- 明治時代の人びとの船での移動の大変さが感じられた。(30代・女性)
- 海洋国家としての日本、「守るべき海」を強く感じた。(30代・女性)
- 船の模型が良かった。実際に船に乗ってみたいと思った。(6歳・女性)

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■特別展示②「秋山真之一受け継がれる海の歴史」

■開催期間：平成30年10月30日（火）～平成30年12月25日（火）

■開催場所：坂の上の雲ミュージアム 4階展示室2

■入場者数：18,522人



特別展示会場 入口



展示会場の様子



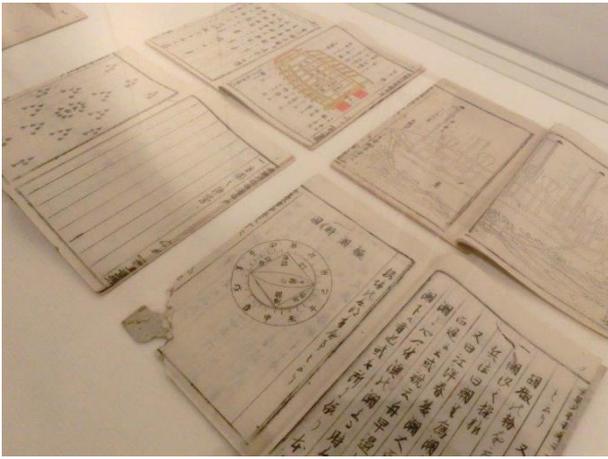
村上海賊関係資料



秋山家関係資料

日露戦争で海軍参謀として活躍した秋山真之は、村上海賊ら日本古来の水軍戦術を学び参考にしたという。本展示では、村上氏から真之へ、受け継がれる海の歴史に迫った。

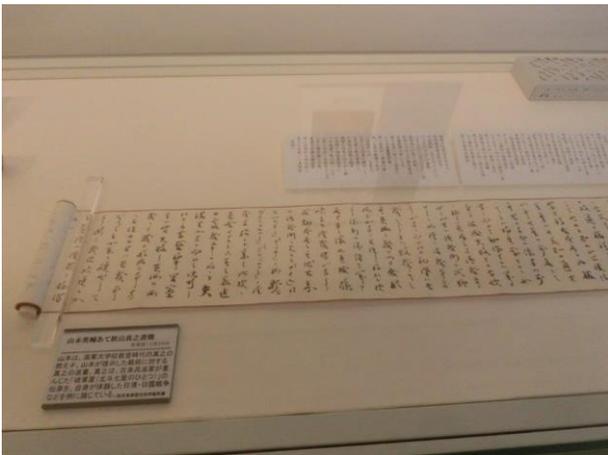
展示前半部分では、能島城跡から出土した生活用品・武具などの考古遺物や、能島村上氏の書状・古記録を展示し、軍事・経済・文化などさまざまな側面をもつ、村上氏の実像について解説した。あわせて、瀬戸内沿岸部に由緒をもつ秋山家の系図等を展示し、村上・秋山両者の資料から、海に暮らす人びとの歴史の連続性を意識させるよう努めた。



江戸時代の水軍兵法書



海軍兵学校の試験問題



古来の伝承に言及した秋山真之書簡



戦艦「三笠」関連資料と小早船模型

村上海賊ゆかりの水軍兵法書について解説、自然の力を生かした航海術を学ぶ実用書としての側面があることを指摘。秋山真之が村上海賊の兵法書を高く評価したというエピソードを紹介しながら、時代を越えて受け継がれる海の知識や技術があることを確認した。

これまで個別にとらえられてきた村上海賊と秋山真之を、ひとつの展示のなかで、一連のテーマとして考察することによって、歴史の流れという時間軸のなかで海について考え、学ぶ機会を提供した。

【来館者の声】

- 海での戦いでは、海流など海についての知識が重要なのだと感じた。(30代・女性)
- 秋山真之が、潮の流れや風の動きなど自然の仕組みをとり入れた戦術を意識していたことがわかった。(20代・女性)
- 松山の歴史や村上海賊と秋山真之のつながりがよくわかった。(30代・男性)
- 愛媛に住んでいても、瀬戸内海の事について自分自身あまりよく知らないということを実感した。(年齢・性別不明)

2. 関連事業の内容

■秋山真之生誕 150 年記念シンポジウム

「村上海賊から秋山真之へー受け継がれる海の歴史」

【開催日時】平成30年11月23日（金・祝）14:00～16:30

【開催場所】坂の上の雲ミュージアム 2階ホール

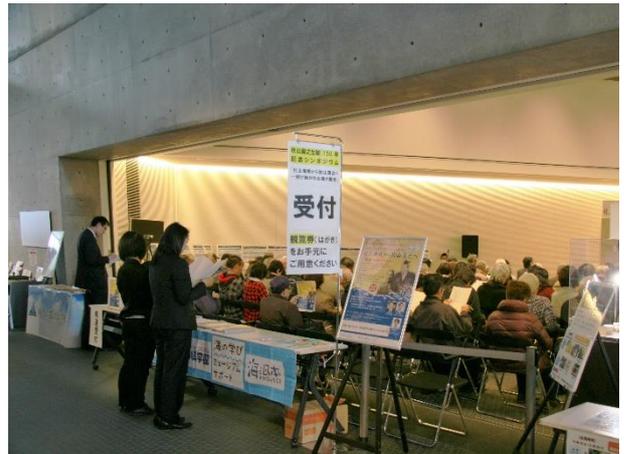
【参加者数】130人

【実施内容・目的】

- 特別展示②「秋山真之ー受け継がれる海の歴史」会期中に秋山真之生誕150年記念シンポジウムを開催した。
- イベントは、講演とパネルディスカッションの2部からなり、前半の講演では、専門家を講師に招いて、村上海賊と秋山真之についてわかりやすく解説していただいた。後半のパネルディスカッションでは、村上氏と真之の接点を探り、参加者に受け継がれる海の歴史について考える機会とした。



シンポジウム会場の様子



シンポジウム会場の様子



山内譲氏の講演



戸高一成氏の講演

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

参加者の理解を深めるため、前半部分では村上海賊・秋山真之それぞれについて講演を行った。はじめに山内譲氏（伊予史談会会長）から、「村上海賊の実像」をテーマに村上海賊の概要、一次資料からみえる能島村上氏の戦術について解説していただいた。つづく戸高一成氏（大和ミュージアム館長）には、「日本海軍における秋山真之」をテーマに明治時代の日本海軍の状況、日露戦争の海軍参謀をつとめた真之の実像について解説していただいた。



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッションの様子

後半は、山内氏、戸高氏に加え、作家の和田竜氏をパネリストに招き、「受け継がれる海の歴史」をテーマにパネルディスカッションを行った。前半の講演内容をふまえながら、村上海賊と秋山真之のつながり、時代を越えて受け継がれる要素について探った。多様な視点から、海にまつわる歴史・テーマについて考える機会を参加者に提供した。

会場は満席の状態となり、参加者は講師・パネリストの話を熱心に聞き入っていた様子であった。

【来館者の声】

- ロマンを感じるテーマだった。いろいろな視点から四国と海のつながりを知りたいと思った。（60代・女性）
- 村上海賊や日本海軍に関わる歴史的な背景が受講できて良かった。（70代・女性）
- 今まであまり取り上げられなかったテーマだったので斬新でした。瀬戸内海と村上海賊、秋山真之の関わりを考える良い機会となりました。（40代・男性）
- 日本が海洋国家であることを改めて感じた。（60代・男性）

■関連展示「モデルシップの世界」

【開催日時】平成30年7月24日（火）～8月30日（木）

【開催場所】坂の上の雲ミュージアム 2階ホール

【参加者数】10,264人（会期中の入館者数）

【実施内容・目的】

- 特別展示①「明治の艦船—船からみる近代日本」会期中に館内無料入館スペースにおいて、坂の上の雲ミュージアム所蔵の艦船模型を多数展示した。
- 来場者に特別展示とあわせて観覧してもらうことで、近代国家における艦船という観点から「海の学び」に関する意識の醸成を図った。



展示会場案内パネル



展示会場の様子



艦船模型



艦船模型

特別展示①「明治の艦船—船からみる近代日本」の展示内容に関連した展示「モデルシップの世界」を館内2階ホールで開催した。19世紀末から20世紀初頭にかけて世界各国で建造された艦船の実物の設計図をもとに1/100のサイズでつくられた模型を展示。模型を通して多様な船の形状を紹介し、船の技術の進化や造船をめぐる各国の意図、近代国家と海の関わりについて考えるきっかけを提供した。

■特別展示ギャラリートーク

【開催日時】特別展示①「明治の艦船一船からみる近代日本」

平成30年9月23日（日） 11:00～11:30

特別展示②「秋山真之一受け継がれる海の歴史」

平成30年12月23日（日） 11:00～11:30

【開催場所】坂の上の雲ミュージアム 4階展示室2

【参加者数】各10名程度

【実施内容・目的】

- 特別展示①「明治の艦船一船からみる近代日本」、特別展示②「秋山真之一受け継がれる海の歴史」会期中に展示室内において、担当学芸員による展示解説を実施した。
- 展示の趣旨や全体の構成・ストーリー、時代背景、展示している資料について解説し、来館者に展示内容をより深く理解してもらうことで、「海の学び」への興味・関心を高めた。



特別展示①会場風景



特別展示②会場風景

特別展示①「明治の艦船一船からみる近代日本」ギャラリートーク（平成30年9月23日）

日本赤十字社の病院船「博愛丸」について、日露戦争の際にロシア兵捕虜を乗せ松山に寄港したことを、展示資料を交えて解説。展示内容が地元の歴史に関わることを指摘し、来館者の展示への興味を高めた。

特別展示②「秋山真之一受け継がれる海の歴史」ギャラリートーク（平成30年12月23日）

展示資料や解説パネルをもとに、秋山真之が村上海賊ゆかりの兵法書を高く評価したというエピソードを紹介。真之に受け継がれた村上海賊の要素とは何か来館者に問いかけ、歴史の観点からの「海の学び」を試みた。

■明治 150 年・秋山真之生誕 150 年記念博物館連携展示

【開催日時】 ①平成 30 年 7 月 18 日（水）～9 月 10 日（月）
②平成 30 年 9 月 22 日（土）～10 月 21 日（日）

【開催場所】 ①大和ミュージアム 1 階ガイダンスルーム
②村上水軍博物館 2 階企画展示室

【実施内容・目的】

- 明治 150 年・秋山真之生誕 150 年を記念して、大和ミュージアム・村上水軍博物館・坂の上の雲ミュージアムの 3 館で博物館連携事業を推進し、各館で秋山真之をテーマにした特別展示を開催した（①大和ミュージアム「秋山真之と日露戦争」、②村上水軍博物館「秋山真之と村上海賊」）。
- 呉市・今治市・松山市の 3 館が共同で共通テーマの展示を行うことで、瀬戸内海を舞台とした広域的な「海の学び」の場の創出を図った。連携事業を通して、各館の来館者が、瀬戸内海を船舶や架橋で往来し、海に親しみを感じてもらおう機会とした。



大和ミュージアム特別展示会場 入口



展示会場の様子

①大和ミュージアム「秋山真之と日露戦争」（平成 30 年 7 月 18 日～9 月 10 日）

大和ミュージアム・村上水軍博物館・坂の上の雲ミュージアムが所蔵する資料を中心に、秋山真之をテーマにした特別展示を各館で開催した。大和ミュージアムの特別展示「秋山真之と日露戦争」では、秋山真之の書簡や日露戦争と明治時代の日本海軍に関する資料を展示。真之の事績を中心に、村上海賊から近代の日本海軍に至る海の戦術や技術を紹介した。



村上水軍博物館特別展示会場 入口



展示会場の様子

②村上水軍博物館「秋山真之と村上海賊」(平成30年9月22日～10月21日)

大和ミュージアムにつづく第2弾の特別展示として、村上水軍博物館で「秋山真之と村上海賊」を開催。秋山真之関連資料とともに、村上海賊ゆかりの水軍兵法書の諸本を紹介、中世史の観点から村上海賊と真之の接点について考察した。



村上水軍博物館 大上幹広氏の講義



大和ミュージアム 市川裕士氏の講義

【付帯事業】 坂の上の雲ミュージアム講座への出演(講師派遣)

博物館連携事業の一環として、大和ミュージアム・村上水軍博物館から、坂の上の雲ミュージアムの定期講座に講師を派遣。各館の立場から海に関わるテーマの講義を行い、特別展示に関連した「海の学び」の場を提供した。

- ・大上幹広(村上水軍博物館)「村上水軍の歴史」(平成30年9月22日)
- ・市川裕士(大和ミュージアム)「明治初期の海軍と西海鎮守府」(平成31年1月12日)

【事業全体のまとめ】

- 海の学びミュージアムサポート事業を活用し、「海の学び」という要素を展示に盛り込んだことで、これまであまり扱うことがなかったテーマに取り組むことができた。また、関連事業を含めたトータルなサポートにより、前期・後期2回の特別展示に加え、これに付随したイベントを開催するなど、長期的な事業展開が可能になった。
- 展示の内容面においては、明治の艦船や近代日本海軍の前史となる村上海賊に関する実物資料を借用展示したほか、来館者が船や海の様子をイメージしやすいよう、関連する写真や図版のグラフィックパネル、展示解説パンフレットを作成して便宜を図った。アンケート集計をみると、予想以上に展示内容から「海の学び」の要素を感じてもらえたようだ。
- 各展示・イベントでは、チラシ・ポスターを印刷配布したほか、特別展示「秋山真之一受け継がれる海の歴史」においては、新たな試みとして松山市内の路面電車内に中吊り広告を掲載して広報活動を行い、誘客の促進を図った。
- 今回の一連の事業を通して、瀬戸内海地域の歴史や文化といったテーマを共有する呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、今治市村上水軍博物館との博物館連携事業を推進できたことは成果のひとつといえる。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 今治市村上水軍博物館	特別展示「秋山真之一受け継がれる海の歴史」展示協力（連携展示）
2. 呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）	特別展示「秋山真之一受け継がれる海の歴史」展示協力（連携展示）
3. 日本赤十字豊田看護大学	特別展示「明治の艦船—船からみる近代日本」展示協力（資料借用）
4. 日本郵船歴史博物館	特別展示「明治の艦船—船からみる近代日本」展示協力（資料借用）
5. 株式会社横浜十番館	特別展示「明治の艦船—船からみる近代日本」展示協力（資料借用）
6. 博物館明治村	特別展示「明治の艦船—船からみる近代日本」展示協力（資料借用）
7. (一財)自治総合センター	秋山真之生誕 150 年記念シンポジウム開催協力

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 『広報まつやま』（市広報紙）	「特別展示 明治の艦船—船からみる近代日本」、2018/7/15
2. 『愛媛新聞』	「明治の艦船 歴史をたどる」、2018/8/28
3. 『広報まつやま』（市広報紙）	「特別展示 秋山真之一受け継がれる海の歴史」、 「秋山真之生誕 150 年記念シンポジウム」、2018/10/15
4. 『愛媛新聞』	「真之の戦術 海賊から?」、「能島村上氏と秋山家に接点」、2018/11/24
5. 伊予鉄道市内電車中吊り広告	「特別展示 秋山真之一受け継がれる海の歴史」、2018/11/28~12/4、12/13~21（16日間）
6. 『産経新聞』（愛媛版）	「真之と「村上海賊」接点を探る特別展も」、2018/12/6

以上